

記

一事業主側

工場主ニ於テハ最ニ爭議ヨリ提出セル要求事項ハ過
大ニシテ容認シ難キモ妥協的態度ニテ交渉セハ職政
ノ許ス範圍内ニ於テ之ニ應スルノ意嚮ナリ

二爭議團側

爭議團員ハ連日本部ニ集合シ協議セルヲ要求事項ヲ
貫徹スヘク持久戦費トシテ各三圓宛ノ鰯金額三十六
圓ノ内家賃ハ爭議團本部へ及印刷交通費ニ支出シタ
ルカ四月四日前六時頃新潟鐵工所三省堂蒲田工場及
橋本第一工場附近ニテ職工出勤ノ途上別記ノ如キ聲
明書ハ我々何故ストライキを決行せねばならなかつたか一ヲ配

布ヤルカ本爭議主謀者タル金澤一馬及前川次郎吉ハ
他組合ノ應援ヲ求ムヘク劃策中ナリ

三交渉状況

爭議團ヨリ提出セル要求條項ハ四月二十七日工場主
ヨリ拒絶セラレタル以後何等交渉セサルヲ以テ依然
トシテ進展セス

四警察事故

四月四日前六時頃爭議團員タル

鶴巻市作 當二十八年

高橋義次 當三十九年

右兩名ハ新潟鐵工所蒲田工場附近ニ於テ宣傳ビラヲ
撒布シ其言動不穩ニ亘ル素アリシニヨリ所轄蒲田警